

学部卒業式・大学院修了式 2017年3月9日(木)



学部244名、大学院7名の皆さん、卒業、修了おめでとうございます

入学式 2017年4月3日(月)



学部307名、大学院4名の皆さん、入学おめでとうございます

大学基準協会から適合認定を受けました
神戸薬科大学は、2015年に公益財団法人大学基準協会による
大学評価及び認証評価を受けました。
認定期間は、2016年4月1日～2023年3月31日まで。



北河学長2期目 新体制の発足

薬学教育評価機構適合認定報告

第102回薬剤師国家試験報告

新8号館(研究棟)竣工

研究室探訪 衛生化学研究室／製剤学研究室

神薬ごよみ 〈MANABI白書・Event Report・Information〉

大学生活ニュース

研究活動 受賞報告 薬化学研究室 奥田 健介 教授

神戸大学附属中等教育学校での
出張授業「がん教育」

「薬剤師」を鍛える

生涯研修支援が充実 エクステンションセンター

北河学長2期目 新体制の発足

2017年4月からの大学執行部新体制が決定しました。創学の精神に基づく「医療人としての使命感と倫理観を十分に理解し、高度な薬学の知識を身につけた薬のプロフェッショナルの養成」を目指して、学長のリーダーシップの下、新体制がスタートします。

今後ともより一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

学長メッセージ

2013年4月より伝統ある神戸薬科大学の学長を務めております。本年3月末で1期目の4年を終え、引き続き2019年3月までの2年間、学長を務めることになり、4月から新体制が発足しました。次の体制へのスムーズな移行を考え、副学長を2人体制としたほか、部館園長、大学院主幹の一部に若手教授を任命しました。新8号館(研究棟)が2月に竣工しましたが、引き続きキャンパス整備を進める計画です。また、東灘区住吉の校地に建設中の地域連携サテライトセンターは、本年9月1日に竣工予定です。地域の行政機関や薬剤師会等の医療団体、患者団体並びに近隣の大学との連携事業の拠点とし、健康サポート活動やメディカル・カフェ活動を展開します。これらの活動を通じて、地域住民の健康の維持増進に貢献するとともに、関連する薬学の周辺領域を教育・研究に取込みたく考えています。また、活動に学生が参加することで、教育に生かしたいと考えています。企業との産学官連携活動にも利用する予定です。

本学は、2、3年前から教職員の世代交代の時期を迎えており、教授陣も若返っています。第102回薬剤師国家試験では前年以上に好成績をおさめることができましたが、引き続き、不断にカリキュラムを見直し、教育・研究組織の整備を進め、教育研究の向上を目指したいと考えています。



学長 北河 修治



副学長・学生支援センター長
岩川 精吾

2017年度は北河学長の2期目の第1年度となります。また2016年度からスタートした中期計画の2年目にもあたり、到達目標を見据えて、着実に成果を上げていく必要があります。新8号館(研究棟)では1フロアに2研究室が配置され、8研究室が入り、10号館とも近くなることで共同研究も進むことが期待されています。そして9月1日には住吉宮町3丁目に地域連携サテライトセンターが竣工し、本学の地域連携の拠点としての役割を果たす予定です。今後、高齢化の進んでいるわが国では薬剤師の活躍する場として、積極的な健康サポート活動があり、学長のリーダーシップの下で地域連携、大学間連携、多職種連携協働などの幅広い連携による健康支援のための教育・研究活動に、微力ながら力を尽くす所存です。



副学長・教務部長
中山 尋量

北河学長2期目の2017年4月1日から2年間、教務部長兼務のまま副学長を務めさせていただくことになりました。北河学長1期目の4年間、教務部長を務めさせていただきましたが、その間に学長はリーダーシップを発揮され、教務関係でも「学長裁量経費による教育改革プログラム」「自ら主導の国家試験対策」など、数々の新しい取組みを推進されてこられました。また、更なる教育環境の充実を目指して「住吉校地のサテライトセンターの設立」や「甲南女子大学看護リハビリテーション学部との連携」など、新しい取組みの種を植えられました。この2期目は、それに実をつける時期に当たるとともに2015年度からスタートした「改訂コアカリキュラム」に基づいたカリキュラムの3年目、4年目に当たり、いよいよ新しいスタイルの実務実習がスタートいたします。教務担当副学長として微力ながら学長をバックアップさせていただく所存です。保護者、関係者におかれましては、引き続きご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。



学生就職部長
北川 裕之

4年目となりますが、どうぞよろしくお願いいたします。現在、学生の安全性や利便性の向上を目指してキャンパス整備が行われています。計画されている女子寮の改築整備やバリアフリー化の促進など、学生就職課がかかわる事業が円滑に進むように尽力してまいります。また、学生の進路選択を支援するために、就職先の多様化を図ってまいります。さまざまな就活支援イベントを企画・開催するとともに、選択科目として「キャリアデザイン講座」も開講いたしました。更に、企業経験者を進路相談の専任者として採用し、学生の相談に応じてまいりました。今後は、企業や病院への就職を増やすために、企業とのつながりを深め、基幹病院との連携を図っていきたく考えておりますので、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



図書館長
内田 吉昭

図書館長に任命されてから1年が過ぎました。多くの学生・教職員に利用いただいている眺めの良い図書館ですが、古くなって使い勝手が悪いので、キャンパス整備の一環として図書館の改修等を北河学長2期目の新体制として考えることになりました。多くの学生が集まる楽しい図書館になるようにしたいと思っています。自習室の充実や利用時間の延長なども視野に入れて図書館運営を行いたいと思います。ネットワークで図書館も利用できます。図書館のホームページにアクセスするとさまざまな電子ジャーナルを見ることができます。データベースに移動すると就職情報が得られる日経BPの雑誌などを見ることも可能です。利用したことのない学生は日経メディカルなどを読んではいかがでしょうか。

Vol.164 contents

- | | |
|--|---|
| 1 北河学長2期目 新体制の発足 | 14 新任教職員紹介 |
| 4 薬学教育評価機構適合認定を受けました | 15 部活動レポート スケート部/ギターマンドリン部 |
| 5 第102回薬剤師国家試験報告 | 17 大学生生活ニュース 2016年度 卒業生の進路状況/卒業生メッセージ
海外(ボストン)薬学研修報告 学生の課外活動 |
| 6 新8号館(研究棟)竣工 | 21 研究活動 受賞報告 薬化学研究室 奥田 健介 教授 |
| 7 研究室探訪 | 22 出張授業「がん教育」神戸大学附属中等教育学校
薬剤師を鍛える エクステンションセンター |
| 9 神薬ごよみ
〈MANABI白書〉〈Event Report〉〈Information〉 | |



薬用植物園長・
薬学基礎教育センター長
和田 昭盛

薬科大学では薬用植物園の設置が義務づけられています。この施設を学生の実習や教育等で有効に活用していくことは、非常に大切です。本学の植物園は、その交通立地の良さや保有する多種多様な植物のため、外部からの見学者に好評をいただいています。しかし、学生にとってはキャンパス内でも最上部にあるためか、訪問の機会が少なく、余り身近な存在とはなっていないのではないかと思います。今後は、本来の機能である圃場(ほじょう)の整備と薬用植物種の充実を図るとともに、学生の参加できるイベントや教育で活用する機会を増やし、より有意義な施設にしていきたいと考えています。授業や実習の合間に、息抜きや癒(いや)しの場としても普段から大いに利用してください。



教授会議長
小林 典裕

このたび教授会議長を拝命しました。教授会は「教育研究に関する事項について審議し、学長が決定を行うに当たり意見を具申する」重責を担います。議論を活性化し建設的に取りまとめる大任に、身の引締まる思いです。昨秋、北河学長が再任され、7項目の課題を示されました。教育研究のますますの充実、魅力的なキャンパス創り、地域社会への貢献などを機軸として、「大学の理念」の実現に邁進(まいしん)されることと拝察いたします。学長と共鳴して本学の発展に貢献する教授会が理想的と考えます。昨春来、気鋭の新任教員が続々と着任され、教授会は若返りの時期を迎えました。新構成員の斬新な着想をくみ取ることも議長に求められる手腕でしょう。任期の二年間を大過なく務めるべく、非才ながら最善を尽くす所存です。



大学院主幹
向 高弘

本学に4年制の大学院薬学研究科薬学専攻博士課程が設置されてから5年が経過し、ここ2期で11名が博士(薬学)の学位を取得されました。論文審査会を拝聴しておりますと、大学院の4年間で多くの研究成果を出されるとともに、専門的知識や科学的思考力が着実に醸成されている様子が窺(うかが)え、博士課程修了者の今後のご活躍が期待されます。しかしながら、厳しい社会情勢の中、本学が発展していくためには、より高度な知識や能力を持った人材を輩出し続けることが必要であり、そのためにも大学院の更なる活性化が重要だと思われます。よりアクティビティが高く、社会に開かれた大学院になるよう、努めてまいります。ご理解とご支援のほどよろしく願いいたします。

「企画・広報課」が発足しました



近年、社会を巡る環境が大きく変化する中で、学長のリーダーシップの下で積極的な大学改革に取り組む姿勢が求められています。一方、大学の魅力をステークホルダーに広く伝えるため、いかにそのブランド力を向上させるかが注目されるようになり、それに伴い大学の広報のあり方も変化してきました。具体的には、受験生の獲得のための入試広報から、保護者、卒業生、求人先、地域に訴求する戦略的な広報が求められています。

本学においても、中期計画書(2016~2020年度)の中に企画・広報課の新設が明記されて、学長が推進しようとするさまざまな戦略的な企画・広報活動について迅速な対応を図るとともに、対外的な窓口としての役割が期待されています。

本学のブランド力を高めていくとともに、学内コミュニケーションを円滑にする架け橋として全力で取り組みます。事務局企画・広報課にご期待ください。

企画・広報課長 岡田 功

薬学教育評価機構適合認定を受けました

神戸薬科大学(6年制薬学教育プログラム)は、
一般社団法人薬学教育評価機構が定める
「薬学教育評価 評価基準」に適合していると認定されました。



薬学教育評価機構適合認定マーク

認定マークは、機構が定める「薬学教育評価評価基準」に基づき評価を実施し、「適合」の総合判定を受けた大学の薬学教育プログラムの質を保証し、社会に示すものです。



学長 北河 修治

本学は、2016年度に一般社団法人薬学教育評価機構の6年制薬学教育プログラムを対象とした薬学教育評価を受け、『神戸薬科大学薬学部(6年制薬学教育プログラム)は、薬学教育評価機構が定める「薬学教育評価 評価基準」に適合していると認定する。認定期間は、2017年4月1日から2024年3月31日までとする。』との通知を受領しました。

薬学教育評価機構 薬学教育評価 とは 「一般社団法人薬学教育評価機構」は、薬学教育の「専門分野別評価」を行う評価機構です。わが国における薬学教育機関の教育の質を保証するために、薬学教育プログラムの公正かつ適正な評価等を行っています。

本学6年制薬学教育評価の結果について

「神戸薬科大学薬学部薬学科には、今回の評価における提言を踏まえ、薬科単科大学としての特色を活かした薬学教育の推進を通してさらに発展することを期待する。」との評価を得ました。

薬学教育評価機構 評価結果より(抜粋)

6年制薬学教育

学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)、教育課程の編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー)、入学受入方針(アドミッション・ポリシー)を大学の理念や教育研究上の目的に基づいて設定し、薬剤師養成教育に課せられた基本的な使命を踏まえて実践している。

語学教育

特に英語教育に力を入れており、少人数クラスで一般英語から専門英語へと段階的に学習できる体系となっている。アメリカでの「海外薬学研修」も4、5年次の選択の専門教育科目として単位化されている。

学生の受入・支援

学生の受入れは、アドミッション・ポリシーに基づいた入学試験により厳正に行われている。入学後は、薬学基礎教育センター及び学生支援センターによる履修指導・学習支援、多様な学内奨学金制度、学生の健康維持に関するさまざまな取り組みにより、きめ細かな修学支援が行われている。

基礎教育科目

薬学専門教育の実施に向けた準備教育としての化学、生物、物理、数学の内容が設定され、一部の授業は能力別クラスで行われている。また、補講によるリメディアル教育も行われている。

専門教育科(選択)

「初期体験臨床実習(1年次)」と「IPW演習(5年次)」は神戸大学医学部との連携科目であり、チーム医療における多職種間医療人協働の重要性を学ぶ特徴的な教育プログラムとなっている。

学習環境

キャンパス内の学習環境には現状でも大きな問題はないが、古い建物の改築などのキャンパス整備が順次進行中である。

教員組織

十分な教育・研究能力を有する専任教員が配置され、他大学等との共同研究も熱心に行われている。学外のさまざまな人的資源も活用している。

教養教育科目

多様な選択科目が設定されており、「総合文化演習[(2年次)]」は13コースから1コースを選択する特徴的な科目である。

実験実習

全領域にわたって必修科目として十分に行われており、問題解決能力の醸成にかかわる教育は卒業研究も含めて十分に設定されている。

実務実習・事前学習

実務実習に向けた事前学習のための設備は良く整備されており、実務実習は、薬学臨床教育センター及び実務実習運営委員が中心となって、適正に行われている。また、ふるさと実習も認めている。

生涯研修

薬剤師認定制度認証機構から「生涯研修プログラマー」の機関認証を受け、活発な卒業後研修を実施しており、学内に設立されたエクステンションセンターが主催する研修講座を学生も無料で受講できるようにしている。

詳細は本学ホームページで紹介しています。

Notice 1

第102回薬剤師国家試験報告

第102回薬剤師国家試験において 266名が合格しました。

2017年3月28日(火)、厚生労働省より第102回薬剤師国家試験の合格発表があり、本学は既卒者を含む266名が合格しました。

本学の新卒合格率は95.08%と、全国の合格率を大きく上回りました。

(過去3年間の) 薬剤師国家試験合格率の推移

	100回(2015年)	101回(2016年)	102回(2017年)
本学*	69.53%	89.51%	89.26%
本学新卒	72.58%	95.02%	95.08%
全国	63.17%	76.85%	71.58%

第102回薬剤師国家試験について

第102回薬剤師国家試験は、2017年2月25日、26日の2日間で実施され、3月28日にその結果が発表されました。今回の国家試験の難易度は、難しかった第100回よりも低かったものの、第101回より少し高いものでした。問題別に見ますと、必須問題は「平易」、理論問題は「やや難」、実践問題は「中程度」の難易度でした。過去問題と非常に類似した問題はかなり減少し、「考える力」「医療現場での実践力」「問題解決能力」が必要な問題が増加しました。また、科目間の垣根を越えた総合的な力を必要とする問題が多く見られました。

本学の国家試験結果につきまして報告いたします。出願者数(既卒者を含めて)319人、受験者数298人、合格者数266人、合格率89.26%で、私学の中で56校中5位、国公立大を含めて8位という、昨年度を更に上回る好結果を得ることができました。また、新卒者の合格率は**95.08%**と、昨年(95.02%)に引続き高い合格率を維持することができました。

本学の学生たちには、基礎薬学の物理、化学、生物が国試合格の鍵を握っており、「思考型勉強法」で国家試

験勉強に臨むよう指導していましたが、やっと、昨年よりこの勉強法が彼らに浸透したように感じています。

また、一昨年より学長の発案で、5年次3月末には、勉学に時間を要す物理、化学、生物等の基礎薬学強化のための補講を導入、更に教務部長の発案で模試の結果に基づいたきめ細かい弱点補強も合格率向上につながりました。このように国試に向けていろいろと対策していますが、高い合格率を実現させるために最も重要なことは、学生たち自身が頑張ることであり、この点からしますと、この2年間彼らは本当によく頑張ったとうれしく思っています。また、このように学生たちが頑張ることができましたのも教員及び職員の皆様方が一致団結して、彼らを熱心に指導され、支えてこられました賜物と思っております。

今年度も国家試験対策に携わることになりましたが、よりよい結果を残すことができますように、微力ではありますが、学生たちの指導にあたる所存です。

本学※ **89.26%**

本学新卒 **95.08%**

全国 **71.58%**

※既卒者を含む



国家試験対策担当
学長特命補佐
宮田 興子

Notice 2

新8号館(研究棟)竣工

2017年2月1日(水)に、本学の中期計画の一つであるキャンパス・グランドデザインの先駆けとなる「新8号館(研究棟)」の竣工式を執り行いました。新8号館が完成し、8つの研究室が集約したことを機に、教員・学生の交流を深め、学内外の共同研究をより推進し、本学の教育・研究の更なる充実を図るよう努めてまいります。



新8号館外観(ベンゼン池側から)

8つの研究室とNMR室



階層別配置図

キャンパスの風景に融和する白壁と大きなガラス窓が印象的な校舎

緑豊かな自然環境の中、白を基調とした校舎群が映えるキャンパスが本学の特長です。新8号館は、その風景に融和する白い外壁と、ベンゼン池側からの見える妻面(つまめん: 建物の棟に直角な側面)の大きなガラス窓が印象的な校舎です。各階に、2つの研究室の専用エリアと、その間に共用スペース、ベンゼン池側にホールを設けています。一見シンプルな建物ですが、研究の作業環境の充実に特化した設備や機器が機能的に配置された建物です。

専門性・多様性を具現化した研究室

研究室の間取りは、各研究室の要望を基に設計されています。薬品を用いた実験や研究を行っているため、より安全で快適な教学環境の構築が不可欠です。新8号館では、実験室とレポート室、休憩室の間に「間仕切り壁」を設けるほか、室内と廊下との室圧(空気圧)を変えるなど、適切な空調・換気システムを整備。実験室には耐薬品機能を持った床材を採用しています。



薬品化学研究室(実験室)



中央分析室(NMR室)

研究室探訪

衛生化学研究室

[スタッフ] 長谷川潤教授 中川公恵准教授
[学 生] 4年:17名 5年:15名 6年:12名



衛生化学は人の健康を「護る」ための学問

生物が持つ自然治癒力のメカニズムや栄養素の働きを明らかにして、ストレスや毒物がどのように私たちの身体を害するのかを研究し、人が健康を保つための知識基盤を構築しています。

現在取り組んでいる研究は、外傷や社会的ストレスによって神経系が傷ついたときの炎症・修復反応を、細胞間コミュニケーションの視点から解析する「神経損傷が治癒する分子機構」です。ほかに「妊娠が引き起こす神経再編成」や、私たちが生きていく上で必須の栄養素である「脂溶性ビタミン」の中の一つ「ビタミンK」の新たな生理作用を解析しています。

研究活動では、論理的な思考力とコミュニケーションの重要性を知ることが大切です。

学生には、教員との議論では、卒業研究のテーマを自らのものとして理解し、発想することを求めています。そのため、ゼミ内のセミナーや学会など、研究室外の人との討論を通じて、コミュニケーション能力・思考のブラッシュアップの仕方を学ぶ機会を提供しています。学生は、それぞれが自律的に、ほかの学生と協力しながら積極的に研究を進めており、自分で納得できるまでじっくりと取り組む人が多く、いつも感心しています。遊ぶときはより一層の結束の強さを感じさせてくれ、それもまた素晴らしいところだと思います。

卒業式の日に



みんなで記念にパチリ

研究室のイベント

5年次生が企画・実施する、毎春の学内お花見や忘年会。普段も度々、研究室内パーティーのお誘いがあります。年に1度、筑波大学、東京理科大学との学生交流会があります。



長谷川潤教授

研究室の雰囲気に先生の人柄が表れています。

6年 一ノ瀬千尋さん

長谷川先生は研究熱心な先生です。指導も丁寧で、おだやかに話を聞いてくださるので相談しやすいです。中川先生は学生思い。困ったときに親身になって考えてくださる優しい先生です。親しみのある先生方の人柄が、研究室の雰囲気にも表れています。

製剤学研究室

[スタッフ] 坂根 稔康 教授 寺岡 麗子 准教授 湯谷 玲子 助教
[学 生] 4年:15名 5年:12名 6年:12名



製剤学は患者さんが目にする「お薬」を対象とする学問

投与方法や剤形を工夫することで、副作用や飲む回数を減らすことも可能。医薬品の有効性と安全性を確保するために必要なさまざまな技術や方法論、投与方法に関する研究を行っています。

水に溶けにくく、吸収されにくい薬物の吸収を改善する方法、錠剤中に存在する薬物の光や湿気による分解とその安定化の方法、薬物を皮膚に投与した後の吸収や皮膚内濃度を改善する方法を研究しています。薬物を鼻に投与すると脳へ送達むことができるため、鼻腔内投与による自閉症やアルツハイマー型認知症の有効な治療法の開発を目指した基礎研究を始める予定です。

マニュアルに忠実に実験することが研究ではありません！
常によく考えて、自ら行動できる力、身近な問題に気づき、
発見する能力を身につけてほしい。

問題解決能力を身につけるためには、常に実験の目的や自分が得たデータや結果、失敗した理由について考えることが大切です。将来、ロボットや人工知能が発達すると、マニュアルどおりの作業しかできない人材は不要です。学生は、真面目にコツコツと、素直に、一生懸命に実験してくれていると感じています。実験期間が十分ではなく、まとまったデータを得るのは難しいですが、学会発表を目指してがんばってほしいと考えています。

研究室旅行



和歌山城にて



小学校跡地
みかんジャムを作りました

研究室のイベント

恒例のイベントは花見・ゼミ配属生の歓迎コンパ・忘年会など。研究室旅行は4月に開催しています。薬剤学会・医療薬学会・薬学会などの主要な学会のほか、さまざまなシンポジウムでは、学生が研究成果を発表しています。

優しい先生。実験のことなど、とても丁寧に教えてくださいます。6年次生いわく「お父さんのような人」です。飲み会やゼミ旅行では学生と一緒に酒を楽しみながら気さくに話してください。文献紹介のセミナーは学生にはない視点で意見をいただけるため、とても勉強になります。

坂根教授は
お父さんの
ような人！

6年
田原 花奈子さん



坂根 稔康 教授

神薬ごよみ

キャンパスカレンダー(学年暦)と併せて、学内の今、そして、これからの取組みを3つのコンテンツでお届けします。

MANABI白書

半期における各学年の学習や
実習報告をお伝えします。

Event Report

半期の主な学内イベントを
ご報告します。

Information

今後の行事を中心に、
学内外のニュースをお伝えします。

MANABI白書

2016年度 後期の学習報告

2年次

1年間をふりかえって

大学生になり成長したと思うことは、普段から勉強する習慣がついたことです。空き時間に理解できなかった範囲をやり直したり、暗記が多い科目は頻繁に目を通したりするようになりました。高校まではテストの1、2週間前から勉強を始めていましたが、今では試験の1週間前には試験科目の勉強を一周以上しています。授業も面白く、特に興味を持って学んでいるのは「有機化学」です。官能基から化合物の性質がわかり、これまで丸暗記していた「反応」が、なぜ起こるのかわかるようになりました。また、入学してすぐに「早期体験学習」や「初期体験臨床実習」で病院や薬局を訪問できたことは、モチベーションアップにつながる良い経験でした。勉強と両立させるのは大変ですが、中高と続けてきた卓球でも良い成績が残せるよう、部活動も頑張りたいです。



2年 中村 紗彩さん

6年次

長期実務実習を経験して

神戸市内の医療センターと個人経営の薬局でそれぞれ2か月半、実務実習をさせていただきました。病院では多職種間の連携が行われており、治療や看護、手術などさまざまな現場で薬学の知見が頼りにされていることを実感しました。薬局では処方提案や服薬指導を通じて、患者さんの立場を意識することの大切さを学びました。実習で役立ったのは授業のノートです。特に薬理学や薬物治療学は疾患と直接かかわる内容が多いため、何度もノートを見直しながら日々の実習に臨みました。この経験を通じて、卒業後は患者さんにより近い薬局薬剤師を目指すことを決心。そのために専門性の向上に加え、患者さんとの接し方も磨きたいと考えています。多くのことを学べる長期実務実習を通じて、後輩のみなさんも自分の目標を見つけてほしいと思います。



6年 上田 純輝さん

PICK UP

医療コミュニケーション演習

本学は、「薬剤師として求められる基本的な資質」を磨く学習方式の強化を図っています。臨床事例のもと、具体的な問題解決に向けて行うグループディスカッションやプレゼンテーションなどを通じて、医療人としてのコミュニケーション能力や問題発見・解決力を身につけることを目的としています。

授業紹介 医療コミュニケーション演習

2年次必修科目 前期は講義・後期は演習

将来の医療人として、患者やその家族との信頼関係を形成し、援助的なかかわりができるように、医療現場における心理学的視点を習得。更に、チーム医療において他のメンバーとの協働関係を築けるようにコミュニケーションスキルを学習します。



テーマを基に、患者への対応についてグループで話し合う



グループで導いたシナリオを基に、患者役と薬剤師役に分かれてロールプレイで発表

学生インタビュー

医療コミュニケーション演習を受講して



3年 日高 諒さん

より良い治療を行うには、患者さんやその家族と良い関係を築くことが大切です。良い関係を築くには、まず相手の状況や立場を考慮すること。意見をいきなり否定するのではなく、話をしっかり聞いて支持し、共感できる部分を探してから自分の意見を言うことだと学びました。このことは、私自身が周りとの良い人間関係を作ることに、将来の進路にも生かせると思いました。

グループ学習について

自分が考えもしなかった意見を聞くことができるため、とても刺激を受けます。普段あまり交流がない人とも話せるので楽しいです。



3年 中井 瑠美さん

患者さん一人ひとりに合う対応を行うことの大切さを学びました。グループで問題点を見つけて整理するほか、他のグループの発表を参考に、その対応は適切か、患者さんはどう感じるかなど深く考えました。クラスにはコミュニケーションの上手な人や自然と気持ちの良い対応ができる人が多いので、お手本となる人に注目して、理想のコミュニケーションを見つけたいと思います。

グループ学習について

グループ学習の魅力は、多様な意見が得られ、自分の考えを見直せること。相手の反応を間近で確かめられるので、「相手に伝える」ことを意識しながら話すようにしました。

Event Report

11月 NOVEMBER

ちやまちキャンサーフォーラム2016出展

2016年11月12日(土)、大阪の毎日放送(MBS)本社で開催された「ちやまちキャンサーフォーラム2016」の展示ブースに参加しました。このフォーラムは、MBSが取組んでいるがん検診啓発キャンペーンの一環で、がんを正しく知り学ぶためのイベントです。昨年に引き続き、学内で定期的に開催している「がん哲学学校 in 神戸 メディカル・カフェ」を紹介。参加者の中には本活動に興味を持ってくださる方も多く、メディカル・カフェ参加につながることを期待しています。



4月 APRIL

第18回公開市民講座 地域連携

例年より少し遅めの桜が満開を迎えた4月15日(土)、本学において公開市民講座を開催しました。前年度の参加者数を大幅に上回る参加をいただきました。

午前の部の健康サポートイベントは、長蛇の列ができるほどの人気ぶり、午後の健康サポート講演会は、講演後に質問が相次ぐなど、今回の市民講座の盛況ぶりを示すものとなりました。

実施イベント

【午前の部】健康サポートイベント

おくすり・健康相談(東灘区薬剤師会) / AEDの使い方講座(東灘消防署) / 健康体操(東灘区役所) / 健康機器を使った健康測定(ココカラファイン) / アロマハンドマッサージ(アイグレイ・セラピストアカデミー・本学IPW同好会) / 薬用植物園見学とハーブティーサービス(本学薬学部) / 模擬患者(SP)さんになってみませんか?(本学薬学臨床教育センター)

()は協賛先、協力団体

【午後の部】健康サポート講演会

講演テーマ:「動脈硬化を防止しよう!〜免疫、腸内細菌と動脈硬化症の関係〜」

佐々木 直人 准教授(本学 医療薬学研究室)

講演テーマ:「老いと、フレイルと、認知症」

長坂 肇 氏(神戸市東灘区医師会 会長)

講演テーマ:「神戸薬科大学 地域連携サテライトセンターの建設と活動について」

北河 修治 学長

※プログラム順



AEDの使い方講座

アロマハンドマッサージ



薬用植物園見学とハーブティーサービス



佐々木 直人 准教授



神戸市東灘区医師会
長坂肇会長



北河 修治 学長

12月 DECEMBER

薬学共用試験 OSCE 本試験 CBT 本試験

2016年度薬学共用試験[OSCE:2016年12月11日(日)・CBT:2017年1月26日(木)・27日(金)]を実施、4年次生が受験しました。全員が合格を果たし、4月10日(月)より、第1陣(i期)が病院実習・薬局実習をスタートさせました。試験詳細は、本学ホームページで公開しています。

2月 FEBRUARY

新8号館(研究棟)竣工

新8号館(研究棟)の竣工式を、2017年2月1日(水)に執り行いました。本紙6ページで紹介しています。

1月 JANUARY

3月 MARCH

武庫川女子大学薬学部との研究交流

2017年3月10日(金)、武庫川女子大学薬学部・神戸薬科大学 研究合同発表会が武庫川女子大学薬学部講堂で行われました。これまで行ってきた武庫川女子大学との職員親睦会を発展させる形で、2016年度より研究合同発表会を開催することになりました。

2017年度の同発表会は本学にて開催する予定です。



文部科学省「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」

がん哲学学校 in 神戸 メディカル・カフェ

「がん哲学学校 in 神戸 メディカル・カフェ」は、「医療の隙間を埋める」ために薬学臨床教育センターが隔月で開催しています。メディカル・カフェとは、患者さん、ご家族、医療従事者、学生、一般の方などさまざまな方が集まり、お茶を飲みながらゆったりと会話する場所です。関心のある方はお気軽にご参加ください。

● 2016年度実施報告

第10回 2016年11月12日(土)

「医の原点は"愛"である」をテーマに、NHKプロフェッショナルにも出演された、兵庫医科大学 集学的腫瘍外科教授 笹子 三津留 先生にご講話いただきました。

第11回 2017年1月21日(土)

「一歩踏み出せば奇跡は起こる」をテーマに、学校法人宮川学園ホザナ幼稚園 理事長 小西 忠禮(こにしただのり)氏にご講話いただきました。小西氏は、フランスの五つ星ホテル「ホテルリッツ」で初の日本人シェフとして勤務された日本フランス料理界の重鎮です。夢をかなえるまでの道のりを、楽しくお話いただきました。

第12回 2017年3月18日(土)

本学 臨床心理学研究室 中島 園美 講師による「コラージュ・ワーク 自分を見つめるアート」を実施しました。できあがった作品を見ながら、参加者でおしゃべりを楽しみました。



第12回「コラージュ・ワーク 自分を見つめるアート」



式当日の写真を裏表紙に掲載!

学部卒業式・大学院修了式 2017年3月9日(木)

入学式 2017年4月3日(月)

2016~2017 主なキャンパスカレンダー

2016

12月	11日	(4年)薬学共用試験 OSCE 本試験 (P.11)
	12日	(5年)模擬面接・模擬グループディスカッション
	12・13日	(5年)第4・5・6回就職ガイダンス
	17日	(5年)病院実習・薬局実習報告会(II/II期)
	20・21日	(5年)企業研究フェア

2017

1月	10日	(5年)病院実習・薬局実習開始(III・IV期)後期定期試験(9日間)
	14・15日	大学入試センター試験
	26・27日	(4年)薬学共用試験 CBT 本試験 (P.11)
2月	1日	新8号館(研究棟)竣工 (P.6)
	4日	一般入学試験・前期
	11日	一般入学試験・中期
	20日	後期追再試験(7日間) (4年)臨時試験
	25・26日	第102回薬剤師国家試験
28日	(3・4年)海外薬学研修[ポストン]出発(13日間) ↑(P.19-20)	
3月	9日	学部卒業式・大学院修了式 【裏表紙】
	10日	一般入学試験・後期
	12日	(3・4年)海外薬学研修[ポストン]帰着
	28日	第102回薬剤師国家試験合格発表 (P.5)
4月	3日	入学式 【裏表紙】
	5日	(4年)インターンシップガイダンス (5年)インターンシップガイダンス
	6日	前期開講日 (5年)第1回就職ガイダンス (6年)病院ガイダンス
	7日	(6年)公務員ガイダンス
	10日	(5年)病院実習・薬局実習開始(i期)
	13日	(6年)第7回就職ガイダンス
	14日	(6年)模擬面接・模擬グループディスカッション
	15日	第18回公開市民講座 (P.11)
	20・21日	(6年)模擬面接
	22日	(6年)病院実習・薬局実習報告会(III・III・IV期) (4・5年)海外薬学研修報告会
27日	第85回創立記念日	
5月	8日	(5年)病院実習・薬局実習開始(I期)
	13日	桔梗育友会春季役員会
	14日	(4・5年)公募制インターンシップガイダンス (1~6年)ビジネス・マナー講座 (4・5年)「インターンシップ」エントリーの書き方ガイダンス
	26・27日	(6年)卒業研究発表会
5月 28日	第43回卒後研修講座	
6月 3・4日		

Information

保護者懇談会を開催いたします

大学の近況、在学生の様子などをお知らせする良い機会となっております。ぜひご参加ください。

11/4(土) 本学

- 桔梗育友会総会
- 保護者懇談会
- 保護者のための就職ガイダンス

11/12(日)

- 地方保護者懇談会(高松、広島、福岡)

オープンキャンパス

第1回目▶ 2017年 7月29日(土)

第2回目▶ 2017年 7月30日(日)

第3回目▶ 2017年 8月 6日(日)

第4回目▶ 2017年10月 7日(土)



高校生や保護者の皆さんの積極的なご参加をお待ちしています。

詳細は本学ホームページ入試情報サイトをご確認ください

新任教職員紹介

2017年度から新たに着任した教職員です。趣味・特技・座右の銘などと併せて紹介します。



薬理学研究室
小山 豊 教授

趣味：ローカル線での小旅行
音楽鑑賞(70年代ロック)



産学官連携担当
四方田 千佳子 特任教授

趣味：猫グッズ収集と音楽鑑賞
風景中に猫を見つける特技あり。



エクステンションセンター
高尾 宜久 臨床特命教授

資格：スポーツファーマシスト
趣味：ゴルフ



薬学臨床教育センター
福井 英二 臨床特命教授

趣味：スポーツ観戦(ラグビー・野球・アメフト等)
よろしく願っています。

人事・受賞者・寄付金受納

【人事】

●採用
特任助教 山崎 俊栄(薬品物理化学研究室)
以上 2017年2月1日付
教授 小山 豊(薬理学研究室)
特任教授 小山 淳子(薬学基礎教育センター)
特任教授 四方田 千佳子(産学官連携担当)
臨床特命教授 高尾 宜久
(エクステンションセンター 至 2017年8月31日地域連携サ
テライトセンター 自 2017年9月1日)
臨床特命教授 福井 英二(薬学臨床教育センター)
臨床特命教授 山本 克己(薬学臨床教育センター)
客員教授 松浦 成昭
客員教授 橋田 充
特任助教 宮川 一也(臨床薬学研究室)
特任助教 迎 武紘(微生物化学研究室)
事務員 石田 貴人(事務局 総務課)
事務員 津田 康裕(学生就職部 学生就職課)
事務員 細野 佑樹(教務部 教務課)
特別職員 沖 和行(薬用植物園)
非常勤職員(カウンセラー) 吉村 由紀子
非常勤職員(薬剤師レジデント) 石川 愛子
非常勤職員(薬剤師レジデント) 関 菜摘子
非常勤職員(薬剤師レジデント) 八木 美樹
以上 2017年4月1日付
課長補佐 灰谷 淳治(事務局 経理課)
2017年6月1日付

●退職
(定年退職)
教授 吉野 伸(薬理学研究室)
教授 杉山 正敏(薬学臨床教育センター)
教授 小山 淳子(薬学基礎教育センター)
課長 沖 和行(薬用植物園)
(任期満了)
特任教授 中江 裕子
客員教授 平井 みどり
(依願退職)
准教授 水谷 暢明(薬理学研究室)
(期間満了)
非常勤職員(薬剤師レジデント) 小澤 拓
非常勤職員(薬剤師レジデント) 植田 梨沙
以上 2017年3月31日付

●再任
学長 北河 修治
(任期 2017年4月1日～2019年3月31日)
副学長 岩川 精吾
(任期 2017年4月1日～2018年3月31日)
●就任
副学長 中山 尋量
(任期 2017年4月1日～2019年3月31日)
●昇任・異動
鎌尾 まや
衛生化学研究室 助手 → エクステンションセンター 講師
岡田 功
教務部教務課 課長補佐 → 事務局 企画・広報課 課長
以上 2017年4月1日付
●昇任
教授 松家 次朗(社会科学研究室)
准教授 八巻 耕也(薬理学研究室)
事務局次長 門田 良弘(事務局 総務課 課長兼務)
主査 藤原 知子(情報支援室)
係長 西田 文栄(学生就職部 学生就職課 看護師)
以上 2017年4月1日付

●異動
秋山 幸宏
学生就職部 学生就職課 課長 → 事務局 施設課 課長
三木 宏之
事務局 施設課 課長 → 学生就職部 学生就職課 課長
橋本 博
事務局 総務課 課長補佐 → 事務局 企画・広報課 課長補佐
水島 清
事務局 総務課 主査 → 事務局 企画・広報課 主査
以上 2017年4月1日付
橋本 英津子
学生就職部 学生就職課 課長補佐 → 事務局 経理課 課長補佐
長瀬 憲司
事務局 経理課 課長補佐 → 学生就職部 学生就職課 課長補佐
以上 2017年6月1日付

●委嘱
学長特命補佐(国家試験対策支援) 特別教授 宮田 興子
学長特命補佐(薬学基礎教育センター支援) 特任教授 小山 淳子
学長特命補佐(連携教育支援) 平井 みどり
学生支援センター長 副学長 岩川 精吾
学生担当部長代理 教授 小西 守周
桔梗育友会連絡係 教授 和田 昭盛
以上 任期 2017年4月1日～2018年3月31日
教務部長 副学長 中山 尋量
学生就職部長 教授 北川 裕之
入試部長 教授 江本 憲昭
図書館長 教授 内田 吉昭
薬用植物園長 教授 和田 昭盛
教授会議長 教授 小林 典裕
大学院薬学研究科主幹 教授 向高 弘
舎監 准教授 山野 由美子
以上 任期 2017年4月1日～2019年3月31日
薬学基礎教育センター長 教授 和田 昭盛
任期 2017年4月1日～

<受章・受賞・表彰>

特任助教 高木 晃(薬化学研究室)
平成28年度日本薬学会近畿支部奨励賞
2017年1月13日付
講師 佐野 紘平(薬品物理化学研究室)
平成29年度日本薬学会物理系薬学部奨励賞
2017年3月27日付
(学年は受賞日現在を示す。)

<寄付金>

同窓会 金一封

<物品寄付>

2016年度卒業生一同 サクラ ソメイヨシノ1本 卒業記念
清水建設株式会社 時計5台 8号館竣工記念



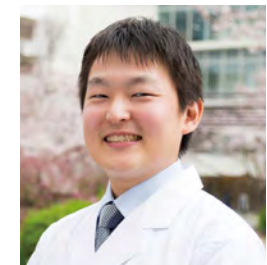
薬学臨床教育センター
山本 克己 臨床特命教授

趣味：家庭菜園、ギター
昔、薬草園で収穫したさつま芋、美味でした。



臨床薬学研究室
宮川 一也 特任助教

資格：総合内科専門医、循環器専門医
趣味：テニス



微生物化学研究室
迎 武紘 特任助教

趣味：野球、読書、文房具
座右の銘：養生(『葉隠』より)



事務局 総務課
石田 貴人 事務員

趣味：映画鑑賞
学生生活がよりよいものとなるよう
尽力いたします！



学生就職部 学生就職課
津田 康裕 事務員

資格：リテールマーケティング検定
柔道二段、ブラジリアン柔術紫帯
趣味：温泉めぐり



教務部 教務課
細野 佑樹 事務員

趣味：写真撮影(星空・夜の風景)、
中央アジアの国々、食べ放題へ行くこと
全国から選ばれる大学を創ります！

充実した学生生活を送り、自らが主体的に考え行動するクラブ活動は、学年を超え多くの学生との交流を深め、豊かな人間性を身につけることができる場です。「チーム医療」の一員としての自覚を養い、コミュニケーション力を磨くことができる有意義な場でもあります。ほとんどの学生が、勉学に励みながら、クラブ活動にも積極的に参加しています。

スケート部

滑りの向上やジャンプ・スピンの習得など各々の目標に向かって練習しています



岡山での合宿



スケート部で旅行!



試合後の集合写真

活動内容

顧問 西村 克己 講師 部員 7名

活動日: 毎週土曜日又は日曜日。兵庫や大阪のスケートリンクで神戸大学と合同練習。8月と2月には合宿もあります。



部長
3年 中井 瑠美さん

個性的で仲間思いの部員が多く、個人競技ですが、厳しい練習もみんなで乗り切るチームワークが自慢です。普段かかわることがない他大学との交流もあり、練習や大会だけでなく、仲良くなった人と遊びに行くこともよくあります。活動を通じて、スケートの技術はもちろん、社会で役立つ上下関係や礼儀、効率のよい時間の使い方が学べたと実感。実はほとんどの部員がスケート未経験者。上級生が丁寧に教えるので、これまでスポーツをしたことがない人も気軽に体験しに来てください。

ひとこと

西日本インカレ「第10回西日本学生フィギュアスケート選手権大会」
「89回日本学生氷上選手権大会」の予選を兼ねた大会。今回は、2016年10月22日(土)～23日(日)に大阪府立臨海スポーツセンターにて行われました。競技種目は、男子シングル、女子シングル(フリースケーティングのみ)。

戦績・活動報告

9月: 8大学交流戦(神戸薬科大、大阪大、大阪府立大、岡山大、神戸大、甲南大、奈良女子大、ノートルダム清心女子大)
10月: 西日本インカレ
11月・2月: 関西学生氷上競技連盟による大会
11月・3月: 県大会

ギターマンドリン部

年1回の定期演奏会に向けて仲良く・楽しくをモットーに活動中!



演奏会に向けた予行演習



演奏会に向けた予行演習

活動内容

顧問 土反 伸和 教授 部員 18名

活動日: 毎週月曜日。春休みなどの長期休みは週に2・3回。夏休みには合宿も行っています。



前部長
4年 佐藤 修一さん

マンドリン、マンドラ、マンドセロ、クラシックギター、コントラバスを用いてマンドリンオーケストラを行う部活です。これらの楽器は長く触れることでいつの間にか弾(ひ)けるようになります。上手になるには気長に楽器に慣れ親しむこと。そのため普段は各自で自由に活動しています。和気あいあいとしていますが、自ら動かなければ成果は出ないため、メリハリのある行動や自主性が身につきました。合奏など全員で一つのことに取り組む難しさはありますが、うまく合ったときはとても気持ちがいいです。

ひとこと

神戸薬科大学ギターマンドリン部定期演奏会

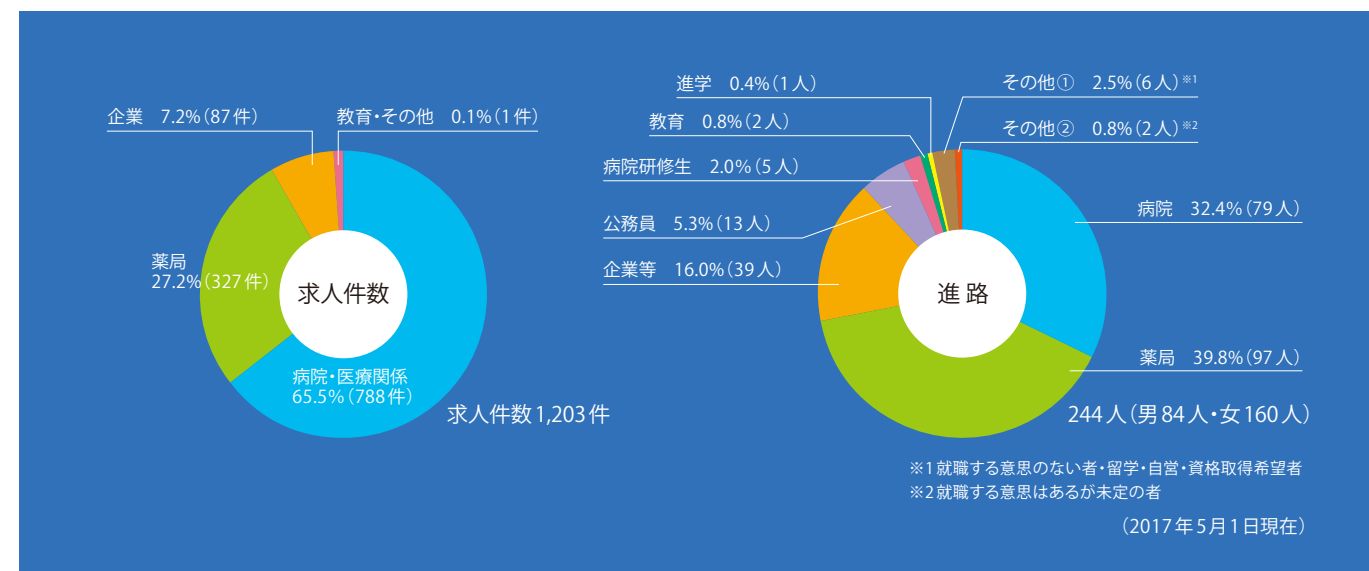
定期演奏会は、今年で第54回を迎えました。予行演習は、演奏会の舞台を想定して、大学内のききょう記念ホールで行いました。

戦績・活動報告

2017年3月25日: 定期演奏会(神戸市立灘区民ホール)
学内でのんびり活動しているため、あまり他大学と交流はありません。目標は、年に一度の定期演奏会で練習の成果を発揮することです。

大学生活ニュース Career Guidance

2016年度卒業生の進路状況



第102回薬剤師国家試験報告

詳しくは5ページで紹介しています



就職活動&国家試験を終えて先輩からひとつこと!

※コメントは2017年3月卒業生

就職活動の ここがポイント

就職活動中は不安になりがちなので、先生、学生就職課、友人や親に相談すること。製薬会社は外資系も多いので英語の勉強も重要です。

国家試験の ここがポイント

応用的な内容につながる基礎科目の内容をしっかりと身につけること。6年次の「処方解析」の授業は、試験に役立ちました。



企業

高田 哲朗 さん
就職先: 大日本住友製薬

就職活動の ここがポイント

大学時代の学びや経験が問われます。1年次から「初期体験臨床実習」などのプログラムに参加しておくのが良いと思います。

国家試験の ここがポイント

早めに準備をすること。私は5年次から薬理や病態について復習し、理解が不足している内容はゼミの先生に質問していました。



病院

長岡 一葉 さん
就職先: 北野病院

就職活動の ここがポイント

進路に応じた対策を行うこと。公務員(薬剤師専門職)志望だったので、学生就職課の専門試験対策や面接対策が役立ちました。

国家試験の ここがポイント

6年次は就職活動もあり多忙ですが、公務員志望者の専門試験対策で学ぶ内容は、国家試験対策にもなるのでおすすめです。



公務員

倉本 舞 さん
就職先: 兵庫県職員

進学の ここがポイント

英語の和訳とリーディングの勉強は必須です。研究内容の発表も行うので、しっかり練習しておくが良いと思います。

国家試験の ここがポイント

6年次進級時に1年間の学習計画を立て、余裕を持って勉強すること。基礎を早めに固めておく、後であせることはないと思います。



大学院

栗林 由布子 さん
進学先: 神戸薬科大学大学院

主な就職先一覧 (50音順)

【薬剤師(病院)】

社会医療法人 明石医療センター
地方独立行政法人 明石市立市民病院
上尾中央医科グループ
医療法人伯鳳会 赤穂中央病院
特定医療法人中央会 尼崎中央病院
医療法人社団 智聖会 安藤病院
医療法人医誠会 医誠会病院
医療法人財団 樹徳会 上ヶ原病院
社会福祉法人 大阪明徳病院
財団法人大阪府警察協会 大阪警察病院
一般財団法人 大阪警察病院
株式会社互恵会 大阪回生病院
岡山済生会総合病院
岡山大学病院
鹿児島市立病院
金沢医科大学病院
医療法人 山崎病院
独立行政法人労働者健康安全機構 関西労災病院
岸和田徳洲会病院
財団法人田附興風会 医学研究所 北野病院
JCHO 九州病院
京都府立医科大学附属病院
医療法人 協和会
近畿大学医学部附属病院
医療法人 錦秀会
倉敷中央病院
高知大学医学部附属病院
医療法人公道会 公道会病院
一般財団法人 甲南会
神戸朝日病院
地方独立行政法人 神戸市民病院機構
JCHO 神戸中央病院
労働福祉事業団 神戸労災病院
国立循環器病研究センター病院
独立行政法人国立病院機構 近畿グループ
社会医療法人 北楡会 札幌北楡病院
医療法人清仁会 シメス病院グループ
医療法人社団蘇生会 蘇生会総合病院
高槻赤十字病院
医療法人尚和会 宝塚第一病院

香川県厚生農業協同組合連合会 滝宮総合病院
医療法人近森会 近森病院
中国電力株式会社 中電病院
特定医療法人 三栄会 ツカザキ病院
国立大学法人 徳島大学病院
徳洲会グループ
とちぎメディカルセンターしもつが
鳥取大学医学部附属病院
大阪府済生会 富田林病院
長崎大学病院
公立病院法人 奈良県立医科大学附属病院
医療法人敬愛会 西宮敬愛会病院
社会医療法人 渡邊高記念会 西宮渡辺病院
医療法人同愛会 博愛病院
医療法人財団 姫路聖マリア病院
姫路赤十字病院
済生会兵庫東病院
社会医療法人 製鉄記念広畑病院
日本鋼管福山病院
松江赤十字病院
松山赤十字病院
社会医療法人 同仁会 耳原総合病院
神戸市立医療センター西市民病院 薬剤師レジデント
神戸市立医療センター中央市民病院 薬剤師レジデント
滋賀医科大学医学部附属病院 レジデント
兵庫医科大学病院 薬剤師レジデント
兵庫県立こども病院 レジデント
県立姫路循環器病センター レジデント
淀川キリスト教病院 薬剤師レジデント

【薬局】

株式会社アイセイ薬局
株式会社アインホールディングス
株式会社アカカベ
株式会社アビスファーマシー
株式会社アルカ
イオンリテール株式会社
株式会社 育星会 カイセイ薬局
ウエルシアホールディングス株式会社
株式会社 岡山医学検査センター スマイル薬局
株式会社カイセイ 回生堂薬局

株式会社エムワン
株式会社 杏林堂薬局
株式会社キリン堂
クオール株式会社
クラフト株式会社 さくら薬局
株式会社クリエイティブ・ディー
高知調剤株式会社
株式会社コクミン
株式会社ココカラファインヘルスケア
株式会社リリアンス
公立病院法人 奈良県立医科大学
株式会社サエラ サエラ薬局
株式会社ザグザグ
株式会社サンドラッグ
株式会社スナドリッグ
株式会社サニ企画
代々木商事株式会社 神女薬局
株式会社新成堂
たんぼほ薬局株式会社
そうけん 薬局
総合メディカル株式会社
たんぼほ薬局株式会社
株式会社ツルハ
トライアドジャパン株式会社 (かもめ薬局)
株式会社ツルハグループドラッグ&ファーマシー西日本
中川調剤薬局
なかの薬局
株式会社楠公堂薬局
株式会社ニチホス
日本調剤株式会社
株式会社ハーマノードレミ薬局 くるみ薬局
株式会社ファーマホールディング なの花薬局
ファルメディコ株式会社 ハザマ薬局
株式会社ホロン すずらん薬局グループ
マイライフ株式会社 (オール薬局)
株式会社マツモトキヨシ
株式会社ミック
株式会社ユーアイファーマシー

【公務員】

尼崎市職員
大阪市職員
香川県職員

富山県職員
兵庫県職員
広島県職員
猛禽類医学研究所

【企業等】

株式会社陽進堂
住友精化株式会社
東洋製薬化成株式会社
藤本化学製品株式会社
丸石製薬株式会社
ピオフェルミン製薬株式会社
アルフレッサ株式会社
株式会社ケーエスケ
株式会社サンキ
株式会社EP総合
クインタイル・ストランス・ナショナル・ジャパン株式会社
シミックホールディングス株式会社
株式会社新日本科学 PPD
ハレクセル・インターナショナル株式会社
あすか製薬株式会社
アツヴィ合同会社
日本イーライリリー株式会社
大塚製薬株式会社
株式会社大塚製薬工場
小野薬品工業株式会社
杏林製薬株式会社
クラクソ・スミスクライン株式会社
クラシエ製薬株式会社
大日本住友製薬株式会社
武田薬品工業株式会社
中外製薬株式会社
ノボ ノルディスク ファーマ株式会社
扶桑薬品工業株式会社
日本ベリンガー・インゲルハイム株式会社
持田製薬株式会社
山本漢方製薬株式会社
ヤンセンファーマ株式会社
学校法人医学アカデミー 薬学ゼミナール

大学生生活ニュース

Activity Report

海外(ボストン)薬学研修報告

アメリカの医療現場で学ぶ 海外派遣プログラム

2017年2月28日(火)～3月12日(日)

毎年、昭和ボストン校との連携による海外薬学研修プログラムを実施しています。先進医療の中心地であるボストンの病院や薬局、医薬品開発の研究機関を訪問するほか、提携大学であるマサチューセッツ薬科健康科学大学(MCPHS)で講義を受けたり、同大学の学生と意見交換を行ったりなど、海外の薬学教育を知る機会を設けています。

Massachusetts General Hospital 医学博物館



展示




歴史的な手術室「エーテルドーム」

マサチューセッツ州で一番大きく歴史ある病院。併設の医学博物館で展示品を見学後、公開の場で初めてエーテルを使い全身麻酔で行った手術の様子を再現した映画を見ました。

MCPHS



MCPHSの6年生の指導の下で、患者役と薬剤師役に分かれて服薬指導のロールプレイ



MCPHSのグッズ

薬局



薬剤師の仕事についてレクチャーを受けました。




Newton-Wellesley Hospital



手術室




岩間さん
お気に入りの1枚



MCPHS生が薬局実習を行う「模擬薬局」

5年 岩間 弓奈さん



藤原さん
お気に入りの1枚



ボストンらしい景観が楽しめる「ビーコンヒル」

4年 藤原 未都菜さん

印象に残ったこと

Dana Farber Cancer Institute や Brigham and women's Hospital の病院訪問

手術室専門の薬剤師があったり、専門試験に合格した薬剤師が病棟の各フロアに常駐し、許可された薬剤は薬剤師が処方権を持つことができたりなど驚くことばかり。高い専門性と自信を持って働いていらっしゃる姿に刺激を受けました。

印象に残ったこと


MGHの手術室専任薬剤師(OR pharmacist)のお話

手術室に入ることができるのはOR pharmacistのみ。麻薬など危険な薬物を扱い、投与する薬の利益や効果を患者に説明しているとのこと。手術室に薬剤師が介入することで、医師とのコミュニケーションが増え、より安全に治療を進められると感じました。日本でもOR pharmacistの存在を重要視すべきだと思います。


参加学生による現地レポート



昭和ボストン校にて



CM先生の英語の授業



神戸薬科大学 海外薬学研修レポート 🔍 検索

2016年度後期 学生の課外活動

勉強と音楽活動を両立! オリジナル曲が配信&CD化

大学の有志のバンドに参加するほか、出身地の三重県伊勢市で地元の仲間とセッション集団を結成しています。ボーカルと作曲を担当し、オリジナル曲『からあげ丼』はiTunesで配信され、CDも発売されました。リリース後は、ライブで一緒に歌ってくれる子どもがいたり、「からあげ丼の人や!」と言われたりすることが多くなりました。自分の作品を多くの人に聴いたり聞いたりしていただけることは感慨深いです。この1年は、地元の企業主催のイベントに参加したり、CD発売1周年を祝ってささやかなライブをしたり、地元のWEBマガジンの紹介記事のため、和歌山の友ヶ島までミュージックビデオを撮りに行ったりしました。

現在は、実習など学業に専念するため、音楽活動は控えています。バンドのメンバーが仕事と家庭を両立しながら音楽を通じて生き生きしている姿を見ると、自分もこんなふうに関わり続けたいと強く感じます。今は、創作活動を細く長く続けていくための充電期間と考えています。どんな経験も創作の糧になると信じ、自分の目の前のことに向き合っています。



5年 井村 実月さん

地元のB級グルメから始めて故郷への哀愁を歌った曲『からあげ丼』




2016年度後期 学生の受賞・表彰



おめでとう
ございます

D4 西田 唯香さん
(薬品化学講座)

第42回反応と合成の進歩シンポジウム
優秀発表賞(ポスター)
受賞タイトル
「クロロホルムをカルボニル炭素源とするアミノカルボニル化反応の開発」



おめでとう
ございます

6年 難波 佳美さん
(薬学臨床教育センター)

NTT データ数理システム主催
2016年度VMStudio & TMStudio 学生研究奨励賞(佳作)
受賞タイトル
「がん哲学外来メディカル・カフェ参加者の意識調査」

研 究 活 動

受賞報告 薬化学研究室 奥田 健介 教授

がん固有の環境に着目した診断薬・創薬を目指して

このたび、薬化学研究室 奥田 健介 教授が2016年7月2日付けで第17回国際癌治療増感研究協会 協会賞を受賞しました。

受賞タイトル 「がんのストレス応答系に関するケミカルバイオロジー研究」

がん治療の現状について

現在、わが国では2人に1人ががんにかかり、3人に1人ががんで死亡しています。がんの治療法としては病巣を切除する外科療法が用いられることが多いのですが、がんのリスクの高い高齢者は体力や免疫力が衰えているために侵襲性^{*1}の高い外科療法ではなく、本来、抗がん剤を使用する化学療法や放射線を照射してがんを攻撃する放射線療法が望ましいはずですが、ところが、現在の化学療法では副作用の強い細胞毒性を作用機構とする従来型の抗がん剤に頼っています。正常細胞へのダメージを避けるべく近年推進されている、がん細胞の増殖や転移にかかわる特定の分子だけを個々に狙う「がん分子標的創薬」も、従来型の抗がん剤と比較して必ずしも副作用が少ないものではありません。また、放射線療法においては、腫瘍内の酸素濃度が低いと治療効果が弱まることが知られており、問題となっています。

^{*1} 侵襲(しんしゅう)…病気がケガだけでなく手術や医療処置も含めた「生体に害が生じる可能性のある行為」



薬化学研究室 奥田 健介 教授

がん低酸素を「見る」

この「がん低酸素」状態を非侵襲的に診断する方法として、特異性、選択性、分析の簡便性において優れた特性を有しており、対象を光らせて同定する「蛍光法」に着目し、世界に先がけて非侵襲的に「担がんマウス」のがん低酸素を可視化する「近赤外蛍光小分子プローブ」の開発に成功しました。このプローブを用いることによってがん低酸素の簡便な評価が可能となりますので、治療法の選択や治療予測へとつながることを期待しています。

私たちの開発した「近赤外蛍光小分子プローブ」を
生きている状態のマウスの静脈内に注射し
「がん低酸素」領域を光らせて体外から可視化することに成功しました。



◀ 左前肢皮下にある「がん低酸素」の
近赤外蛍光イメージング

がん固有の環境とは

がん組織では腫瘍の急激な成長に血管の成長が追いつかず、腫瘍血管^{*2}は無秩序で脆弱(ぜいじゃく)です。その結果、がん組織は、低酸素、低栄養状態といった環境におちり、放射線療法や従来型の化学療法に抵抗性となり、がんの悪性化を引き起こします。近年、このような劣悪ながん固有の環境下において、がん細胞はさまざまなストレスに対してうまく適応・応答するシステムを介して血管新生^{*3}などを引き起こし、生存していることが明らかになりました。それに伴い、これらのストレス応答システムを標的とするがん治療の概念が生まれました。

^{*2} 腫瘍血管…がんの組織内にみられる血管網 ^{*3} 血管新生…新しい血管が形成される現象

がんを取巻く環境への適応応答を標的とする創薬

そこで私たちは、がんにかかわるストレス応答システムを阻害する化合物を天然資源より探索することとし、「みつばち」の産み出すものの一つであるプロボリスを取上げました。プロボリスは、キノコ類に次いでがん用いられている民間療法であり、その成分探索を行った結果、がん細胞のストレス応答システム並びに血管新生を阻害する化合物を複数見いだしました。また、抗糖尿病薬であるメトホルミンに抗がん効果が報告されていることに着目し、メトホルミンと同様に作用する抗糖尿病薬の一つであるフェンホルミンを評価したところ、がん細胞のストレス応答システム並びに血管新生を阻害し、低栄養選択的に細胞の生存・増殖を阻害する作用をフェンホルミンが有することを見いだしました。更に、フェンホルミンと構造が似ている化合物を多数設計・合成し、その生物活性を評価したところ、フェンホルミンを上回る高い薬理活性の化合物の創製に成功しました。

以上のように、私たちが開発した化合物は、がんを取巻く環境への適応応答という複雑な現象全体を標的として設定する創薬戦略に基づいています。現在有効な治療法のないタイプのがんに対する治療薬の創製に貢献するとともに、種々のストレス応答システムにかかわる実在する物質を可視化する小分子プローブを開発し、がんの細胞内シグナル制御機構の解明を目指します。

出張 授業

文部科学省「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」

神戸大学附属中等教育学校での「がん教育」

薬学臨床教育センター 教授 沼田 千賀子



SGDの様子

2016年10月21日(金)、28日(金)、11月4日(金)に、薬学臨床教育センターの教員とゼミ生が、同区内にある神戸大学附属中等教育学校の中学1年生(120名)に60分×2コマの「がん教育」の授業を行いました。

生涯で国民の2人に1人は、何らかのがんに罹患(りかん)するといわれています。がんを予防し、また、がんを受け入れる力を涵養(かんよう)するため、政府と文部科学省は、子どものころからの「がん教育」を本年度から全国展開する予定です。しかしながら、がんという病気が専門性も高く、医療者でない教員が授業を行うのは負担が大きいと考えて、本学が役に立っていないかと同校に声をかけました。

1日目は、「がんの正しい知識を身につける」ことを目的とした授業を行い、生徒たちは授業で感じたことをグループでディスカッション(SGD)しました。2日目は、「今思う健康とは何か」について生徒たちでSGDを行い、その後、若年性がん体験者の話を聞き、再度SGDを行いました。体験者の話を聞く前は、「学校を休まず、楽しく勉強やスポーツができるから健康だ」という意見が多かったのが、話を聞いた後は「支えてくれる家族や友人がいるから健康だ」というように、健康とは何かを広い視野で考えられるようになっていました。3日目は、「いのちの授業」として死の疑似体験を行い、生きていることや周りの人たちに感謝する気持ちについて考えてもらいました。その後、3日間の授業を通して「がんに対するイメージ」がどのように変化したかを発表してもらいました。

生徒たちは、「死」や「いのち」について考えたり、がんを社会的な問題として認識したりできるようになったと思います。また授業を企画・実施した当センターゼミ生にも多くの学びがあり、共に成長できる良い機会となりました。



いのちの授業「葉っぱのフレディ」の朗読を聞く生徒



いのちの授業を受けて感じた心の変化について発表

在学生も卒業生も、薬剤師を徹底サポート

「薬剤師」を鍛える

生涯研修支援が充実 エクステンションセンター

エクステンションセンターは、大学の大きな特徴である生涯研修を担う組織です。これまでの「生涯研修認定制度」に加えて、今年度より「健康食品領域研修認定薬剤師制度」(申請中)をスタートします。

2017年度の生涯研修プログラムは、「薬剤師に必要な8疾患」をテーマに、各研修会を企画し、「症例」を交えた実践や、スモールグループディスカッション(SGD)を取入れ、より充実した内容になっています。それに加えて健康食品に関する十分な知識を持ち指導できる薬剤師を養成するため、「健康食品講座」を基盤とする健康食品領域の研修事業を一層充実させ、この研修事業を通して、公益社団法人薬剤師認定制度認証機構の特定領域(P)認定制度に「健康食品領域研修認定薬剤師制度」を申請中です。これらの研修会は、学部学生にも受講可能としており、学年に関係なく受講できますが、4~6年次においては専門教育科目(選択科目)として単位認定をしています。現役の先輩薬剤師と一緒に各プログラムを受講することは、医療への理解を深め、将来の薬剤師像を描く良い機会になるでしょう。



卒後研修講座



薬剤師実践塾
「在宅医療」研修 輸液調製の基礎と実践